

【編集・発行】
 2021年3月版
 千葉県北千葉道路建設事務所
 〒286-0017 成田市赤坂2-1-14
 TEL:0476-28-1411

Ⅱ期区間工事実施中!!



仮称土屋橋と仮称下山橋の整備状況(令和3年2月撮影)



ますます高まる!北千葉道路の整備効果

- その1. 広域道路ネットワークの強化・物流効率化の支援
～地域活性化の実現～
- その2. 交通処理能力の向上・成田市街地の交通円滑化
- その3. 救急医療・防災機能の強化

周辺道路の交通円滑化

国道408号現道は主要渋滞箇所4箇所が連担しており、特に土屋交差点では、交通混雑が顕著となっています。今後、押畑より先のⅡ期区間の整備により、広域交通と生活交通が分離し、交通の円滑化が期待されます。

国道408号の渋滞状況



土屋交差点付近の渋滞の様子



栄町方面から土屋交差点を望む

整備後のⅠ期区間



北千葉道路 松崎インター付近

災害に強いまちづくりに貢献

記録的な暴風雨となった令和元年房総半島台風等では、大雨が短期間のうちに連続して発生し、大雨や暴風による道路路面の崩落や倒木、道路冠水等が生じ、多くの道路で通行止めとなりました。北千葉道路の整備により、東西方向の連絡、災害物資の輸送、緊急車両の通行等のための災害に強いネットワークが構築されます。

大雨が降ると多くの箇所ですぐ道路冠水により交通規制がかり、緊急車両の走行や物資輸送が困難になります。北千葉道路の整備によって、安全で迅速な緊急走行が可能となり、搬送時間の短縮や、緊急患者の搬送先である病院選定の選択肢が広がります。さらに、大規模災害時の災害応援のアクセス道路として役立つと期待しています。



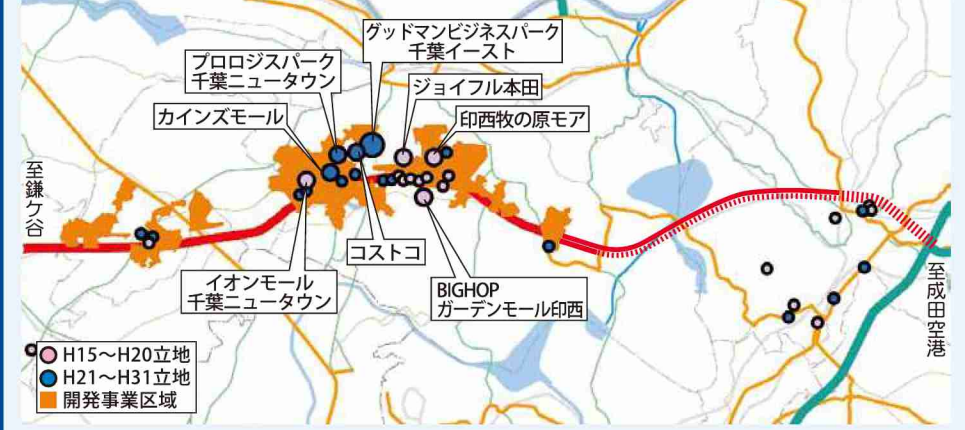
令和元年大雨被害(主)成田小見川鹿島港線・成田市

令和元年台風15号被害(主)佐原八日市場線・多古町

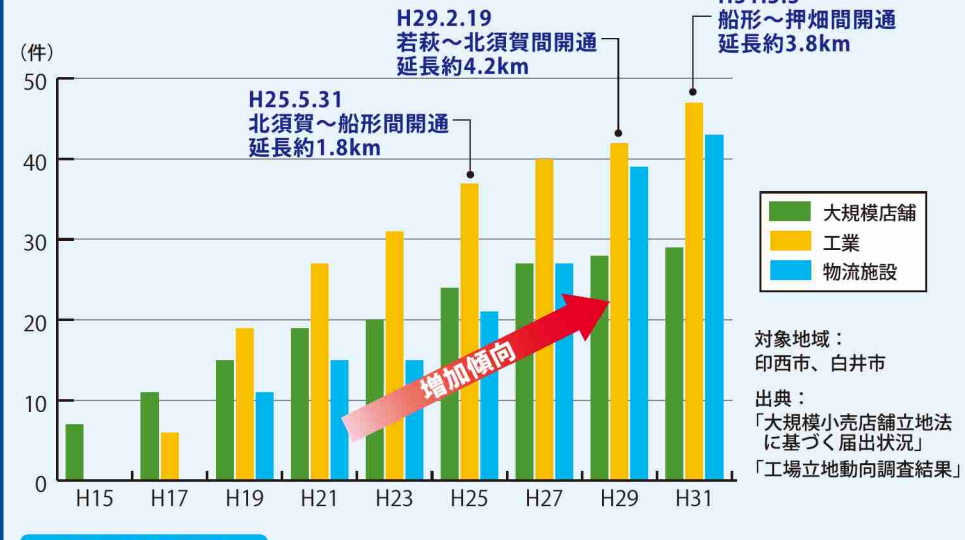
物流施設・商業施設の立地促進!

北千葉道路が延伸していることに伴い、物流施設・商業施設の立地が進んでいます。地域の経済が活性化するとともに買物の利便性が高まり、住みよいまちづくりを牽引しています。

北千葉道路周辺の主な企業立地状況



大規模店舗、工業・物流施設立地状況



印西市泉野周辺



令和元年10月大雨時の周辺道路交通規制箇所



北千葉道路とは

一般国道464号北千葉道路は、常磐道と東関東道のほぼ中間に位置し、平成30年6月2日に開通した外環道(千葉県区間)から千葉ニュータウンを経て、成田空港までを最短で結ぶ延長約43kmの幹線道路です。北千葉道路の整備により、沿線地域の慢性的な交通混雑の緩和や首都圏の国際競争力の強化に資するとともに、災害時における緊急輸送道路として機能するなど、様々な効果が期待されます。

北千葉道路の概要



北千葉道路(印西～成田間)の整備状況

北千葉道路(印西～成田間)約13.5kmのうち、印西市若萩から成田市押畑までのⅠ期区間約9.8kmが平成17年度に、残る成田市押畑から大山までのⅡ期区間約3.7kmが平成19年度に、それぞれ事業着手しました。Ⅰ期区間については、現在、県と国が分担しながら事業を行っており、起点部となる印西市若萩から成田市北須賀までの約4.2kmを県施行区間として、続く、成田市北須賀から押畑までの約5.6kmを国施行区間としてそれぞれ整備を進めています。県施行区間については、平成29年2月19日に、国施行区間についても平成31年3月3日に暫定2車線で開通しています。Ⅱ期区間については、全線を県施行区間として、早期開通を目指し、工事を進めているところです。

北千葉道路(印西～成田間)の計画概要

事業名：一般国道464号北千葉道路(印西市～成田市)
 起点：印西市(旧印旛郡印旛村)若萩地先
 終点：成田市大山地先
 延長：約13.5km
 道路規格：第3種第1級(設計速度80km/h)
 車線数：4車線
 主な交差道路：一般国道464号、408号、51号など

